
俺の仕事は人殺し

村岡 暗太郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺の仕事は人殺し

【Nコード】

N2705BA

【作者名】

村岡 暗太郎

【あらすじ】

1人の殺し屋が最後のミッションに挑む

俺の罪

俺の名前は、伊藤 純平23歳

職業は…殺し屋つまり、人を殺して、生きている。一人殺す毎に2億の金が入る。だが、仕事の依頼は年に2、3回。毎年のボーナスは3億。つまり、年に5億は儲かる。

5億もあれば一生生きていける程の大金だ。

だが、俺達のような仕事の人間は、いくら金があっても、豪華な生活は出来ない。むしろ、貧乏生活を送らねばならない。ボロやにすみ、飯は一日二食、もちろんお菓子や、デザートは取らない。

つまり、一ヶ月3万円の生活だ。

残りの金はどうしてるかって？

残りの金は、武器や、防具服、ギャンブルについやす。

俺達殺し屋はこのような生活をおくりながら、人を殺している。

今日は俺の最後の仕事のミッションについて話して行こう。

7月4日

俺はボスに呼ばれ、事務所へ向かった。その時点で恐ろしい事件が起こり始めていた。

俺は事務所の扉を開けた。その時、銃声と共に

俺の胸に激しい激痛がはしった。

俺は…撃たれた。ボスに、部下に、そして奴に…

俺は、反抗出来なかった。そのまま、3、4発撃たれた。

そして……

死んだ。

第二話

俺が殺される数日前・・・

6月24日

俺はボスに頼まれたある人物を殺すために家を出た。

ターゲットの名は

佐々倉 光輝 36歳

家族は、妻と、息子3人の

5人家族

仕事は、カメラマン。

所在地は、神奈川県。

え？なぜそこまで知ってるかって？

そいつは企業秘密だ。

俺は、バイクに乗り、コンビニへ走った。

俺は、コーヒー、おにぎりを買いコンビニを出た。

これは、朝ごはんを含む。

俺は再びバイクを走らせ、高速道路に入った。

高速道路を抜け

神奈川県に入った。問題は、ここからだ。

奴が神奈川にいるのは分かっている。だが、それ以上は分かっていた。なかった。

「ちんちんかぶちんすくきだるんか………」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2705ba/>

俺の仕事は人殺し

2012年1月11日22時56分発行